歴史 4 テーマ 1 縄文・弥生

① 政治・合戦と戦い

めあて　むらの生活から、くにの誕生と争いへの変化をつかむ。

語群から選んで書こう。同じ語を繰り返し使うこともある。

1 政治　むらからくにへ

縄文と弥生では、人々をまとめる仕組みがどう変わったのだろう。

語群　邪馬台国 ／ 定住 ／ 有力者 ／ 稲作 ／ 卑弥呼 ／ 貧富

1. 縄文時代、むらをつくって住み続ける【1】（　　）の生活が広がった。

2. 弥生時代には水田で米をつくる【2】（　　）が広がった。

3. 土地や米を多く持つ人が現れ、【3】（　　）や身分の差が生まれた。

4. 【4】（　　）が周りのむらをまとめ、くにをつくった。

5. 3 世紀ごろ、【5】（　　）が【6】（　　）を治めていた。

つながり

【7】（　　）が広がる → 土地や米を多く持つ【8】（　　）がむらをまとめる。

2 合戦・戦い　資料とむらの防御から考える

縄文の争いの詳しい経過は不明な点が多い。弥生はむらの防御にも注目しよう。

語群　水 ／ 吉野ヶ里遺跡 ／ 狩り ／ 土地 ／ 環濠 ／ 争い

1. 縄文の矢じりは【9】（　　）にも使うため、それだけで戦争があったとは決められない。

2. 弥生時代、米づくりに必要な【10】（　　）や【11】（　　）などをめぐる争いも起こった。

3. むらの周りにめぐらせた堀を【12】（　　）（かんごう）という。

4. 大きな環濠集落の代表例は、佐賀県の【13】（　　）である。

つながり

土地や水をめぐる【14】（　　）→ むらを守るための【15】（　　）などをつくる。

3 自分の言葉でつなげよう

稲作の広がりは、なぜむら同士の争いにつながったのだろう。

ヒント　土地／水／米づくり

歴史 4 テーマ 1 縄文・弥生

② 外交・文化

めあて　地域間の交易から中国との外交へ、交流と文化の変化をつかむ。

語群から選んで書こう。同じ語を繰り返し使うこともある。

1 外交　地域間の交流から中国へ

縄文は離れた地域との交流、弥生は中国の王朝との関係を考えよう。

語群　魏 ／ 交易 ／ 金印 ／ 黒曜石 ／ 奴国 ／ 権威

1. 縄文の遺跡からは、遠方から運ばれた【1】（　　）やヒスイが見つかる。

2. 離れた地域と品物をやり取りすることを【2】（　　）という。

3. 57 年、【3】（　　）は中国の後漢に使いを送り、【4】（　　）を授けられたと考えられる。

4. 3 世紀、邪馬台国の卑弥呼は中国の【5】（　　）に使いを送った。

つながり

中国へ使いを送る → 称号などを得る → 王の【6】（　　）を高める。

2 文化　道具と住まいと米づくり

生活の工夫やまつりの道具から、二つの時代の文化を比べよう。

語群　銅鐸 ／ 縄文土器 ／ 高床倉庫 ／ 土偶 ／ 竪穴住居 ／ 弥生土器 ／ 稲作

1. 縄文時代の【7】（　　）は、食べ物の煮炊きなどに使われた。

2. 縄文の住まいには【8】（　　）、祈りに使ったと考えられる土製品に【9】（　　）がある。

3. 弥生時代の土器を【10】（　　）という。

4. 米などの保存には、床を高くした【11】（　　）が使われた。

5. 青銅器の一つで、まつりに使われたものは【12】（　　）である。

つながり

大陸から【13】（　　）や金属器が伝わる → 暮らしの道具やまつりが変わる。

3 自分の言葉でつなげよう

大陸との交流は、政治と暮らしにどんな変化をもたらしただろう。

ヒント　王の権威／稲作や金属器

歴史 4 テーマ 2 古墳・飛鳥

① 政治・合戦と戦い

めあて　豪族・天皇の政治と、国内外の戦いによる変化をつかむ。

語群から選んで書こう。同じ語を繰り返し使うこともある。

1 政治　豪族のまとまりから律令の国へ

大陸の仕組みを参考にしながら、国の制度が整えられた。

語群　大宝律令 ／ 大化の改新 ／ ヤマト政権 ／ 十七条の憲法 ／ 冠位十二階 ／ 天皇

1. 古墳時代、【1】（　　）では大王を中心に有力な豪族が結びついた。

2. 聖徳太子は、能力や功績に応じて位を与える【2】（　　）を定めたとされる。

3. 役人の心構えを示したものは【3】（　　）である。

4. 645 年の政変を出発点とする改革を【4】（　　）という。

5. 701 年に【5】（　　）が定められ、法律に基づく国の制度が整った。

つながり

有力豪族のまとまり → 【6】（　　）などの改革 → 【7】（　　）中心の国づくり。

2 合戦・戦い　豪族の争いと大陸との戦い

戦いの後に、政治や国の守りがどう変化したかを考えよう。

語群　壬申の乱 ／ 物部氏 ／ 白村江の戦い ／ 中臣鎌足

1. 仏教の受け入れなどをめぐり、蘇我氏と【8】（　　）が対立した。

2. 645 年、中大兄皇子と【9】（　　）らが蘇我氏を倒した。

3. 663 年、唐・新羅と戦った【10】（　　）に敗れた。

4. 672 年の【11】（　　）で勝った大海人皇子は、天武天皇となった。

つながり

【12】（　　）で敗れる → 国の防備や政治の整備を進める。

3 自分の言葉でつなげよう

白村江の戦いの敗北は、その後の国づくりにどうつながっただろう。

ヒント　外国の攻撃への備え／政治の整備

歴史 4 テーマ 2 古墳・飛鳥

② 外交・文化

めあて　朝鮮半島・中国から伝わった技術や仏教を、文化と結びつける。

語群から選んで書こう。同じ語を繰り返し使うこともある。

1 外交　朝鮮半島や中国から学ぶ

人々の移動や使節の派遣が、技術と制度を伝える役割を果たした。

語群　文化 ／ 渡来人 ／ 唐 ／ 小野妹子 ／ 遣隋使 ／ 使節

1. 朝鮮半島などから来て、技術や文化を伝えた人々を【1】（　　）という。

2. 607 年、【2】（　　）が【3】（　　）として中国へ送られた。

3. 隋の後に成立した【4】（　　）にも、遣唐使を送った。

4. 使節は、政治の制度・法律・【5】（　　）などを学んだ。

つながり

渡来人や【6】（　　）を通じて学ぶ → 新しい技術や制度を国づくりに生かす。

2 文化　古墳と仏教文化

古墳時代の支配者の墓と、飛鳥時代の仏教文化を比べよう。

語群　法隆寺 ／ 仏教 ／ 前方後円墳 ／ 飛鳥文化 ／ 埴輪

1. 前が四角形、後ろが円形の古墳を【7】（　　）という。

2. 古墳の周りには、人や家などをかたどった【8】（　　）が並べられた。

3. 6 世紀、百済から【9】（　　）が伝わった。

4. 仏教を中心とする、この時期の文化を【10】（　　）という。

5. 聖徳太子と関係の深い、奈良の寺は【11】（　　）である。

つながり

大陸から【12】（　　）が伝わる → 寺や仏像をつくる → 【13】（　　）が栄える。

3 自分の言葉でつなげよう

外国との交流が、政治と文化の両方に役立ったことを説明しよう。

ヒント　制度や法律／仏教・寺・仏像

歴史 4 テーマ 3 奈良・平安

① 政治・合戦と戦い

めあて　政治の中心の変化と、武士が力を伸ばした戦いをつなげる。

語群から選んで書こう。同じ語を繰り返し使うこともある。

1 政治　天皇・貴族・上皇

古墳・飛鳥の時代に国づくりが進み、天皇を中心とする制度が整った。

語群　院政 ／ 平安京 ／ 律令制度 ／ 摂関政治 ／ 平城京

1. 律と令という法律に基づく政治の仕組みを【1】（　　）という。

2. 奈良時代の都は【2】（　　）、794 年に移った都は【3】（　　）である。

3. 藤原氏が摂政・関白として行った政治を【4】（　　）という。

4. 白河上皇らが、天皇の位を退いた後も行った政治を【5】（　　）という。

つながり

天皇中心の政治 → 藤原氏の【6】（　　） → 上皇による【7】（　　）へ。

2 合戦・戦い　武士が政治の場へ進む

朝廷内の対立にも武士が関わり、平氏・源氏の勢力が伸びた。

語群　壇ノ浦の戦い ／ 平清盛 ／ 武士 ／ 平治の乱 ／ 保元の乱 ／ 鎌倉幕府

1. 平安時代、地方で土地などを守る【8】（　　）が力を伸ばした。

2. 1156 年の【9】（　　）、1159 年の【10】（　　）には武士も参加した。

3. 平治の乱の後、【11】（　　）が勢力を強め、太政大臣になった。

4. 1185 年、【12】（　　）で平氏が滅び、源氏が勝った。

つながり

朝廷の争いで【13】（　　）が活躍する → 平氏の政治 → 源氏が勝ち、【14】（　　）へ。

3 自分の言葉でつなげよう

平安時代の終わりごろ、武士は政治にどう関わるようになっただろう。

ヒント　朝廷の争い／平清盛／源氏

歴史 4 テーマ 3 奈良・平安

② 外交・文化

めあて　大陸の影響と、日本の風土に合う文化の発達をつなげる。

語群から選んで書こう。同じ語を繰り返し使うこともある。

1 外交　唐から学び、宋と交易する

使節の派遣と、その後も続いた商人の交流を区別しよう。

語群　宋 ／ 遣唐使 ／ 交流 ／ 唐 ／ 菅原道真

1. 中国の【1】（　　）に、制度や文化を学ぶ【2】（　　）を送った。

2. 894 年、【3】（　　）が遣唐使の派遣停止を提案した。

3. 遣唐使の停止後も、商人などによる【4】（　　）は続いた。

4. 平安時代の終わりごろ、平清盛は中国の【5】（　　）との貿易を盛んにした。

つながり

【6】（　　）で唐の文化を学ぶ → 派遣が停止する → 商人などの【7】（　　）は続く。

2 文化　天平文化から国風文化へ

奈良と平安の代表的な文化・作品を、時代と結びつけよう。

語群　枕草子 ／ 天平文化 ／ かな文字 ／ 東大寺 ／ 源氏物語 ／ 国風文化

1. 奈良時代、唐や仏教の影響を受けた文化を【8】（　　）という。

2. 聖武天皇は、奈良の【9】（　　）に大仏をつくらせた。

3. 平安時代、日本の風土や生活に合う【10】（　　）が発達した。

4. 漢字をもとにした【11】（　　）が広まり、文学が発達した。

5. 紫式部は【12】（　　）、清少納言は【13】（　　）を著した。

つながり

【14】（　　）が広まる → 日本語の文学が栄える → 【15】（　　）が発達する。

3 自分の言葉でつなげよう

唐の影響を受けた文化は、平安時代にどのように発展しただろう。

ヒント　日本の風土や生活／かな文字／国風文化

歴史 4 テーマ 4 鎌倉・室町

① 政治・合戦と戦い

めあて　二つの幕府の仕組みと、戦いによる政治の変化をつかむ。

語群から選んで書こう。同じ語を繰り返し使うこともある。

1 政治　将軍と武士の関係

鎌倉幕府から室町幕府へ、武士による政治が続いた。

語群　御成敗式目 ／ 源頼朝 ／ 足利尊氏 ／ 御家人 ／ 執権 ／ 奉公 ／ 御恩

1. 鎌倉に幕府を開いたのは【1】（　　）である。

2. 将軍に仕える武士を【2】（　　）といい、御恩と【3】（　　）で結ばれた。

3. 北条氏は、将軍を補佐する【4】（　　）として政治を行った。

4. 1232 年、北条泰時は武士の法律【5】（　　）を定めた。

5. その後、【6】（　　）が室町幕府を開いた。

つながり

将軍が土地を与えたり保護したりする【7】（　　）→御家人が軍役などの【8】（　　）で応える。

2 合戦・戦い　幕府への挑戦と戦国の始まり

戦いの名前だけでなく、その後に誰の力が変わったかも考えよう。

語群　元寇 ／ 建武の新政 ／ 戦国大名 ／ 承久の乱 ／ 応仁の乱

1. 1221 年、後鳥羽上皇が幕府を倒そうとした【9】（　　）で、幕府が勝った。

2. 1274 年・1281 年の元の襲来を【10】（　　）といい、北条時宗が対応した。

3. 1333 年に鎌倉幕府が滅び、後醍醐天皇の【11】（　　）が始まった。

4. 1467 年に始まる【12】（　　）の後、各地で【13】（　　）が力を伸ばした。

つながり

【14】（　　）→幕府の力が弱まる→【15】（　　）どうしの争いが広がる。

3 自分の言葉でつなげよう

御恩と奉公の関係を、「将軍」と「御家人」を使って説明しよう。

ヒント　土地を与える・保護する／軍役などで仕える

歴史 4 テーマ 4 鎌倉・室町

② 外交・文化

めあて　海外との関係と、武士・民衆の文化の広がりをつかむ。

語群から選んで書こう。同じ語を繰り返し使うこともある。

1 外交　元との対立と明との貿易

元寇と、その後の正式な貿易の仕組みを区別しよう。

語群　勘合貿易 ／ フビライ ／ 倭寇 ／ 勘合 ／ 明

1. 元の皇帝【1】（　　）は服属を求め、日本はこれに応じなかった。

2. 足利義満は、中国の【2】（　　）との貿易を進めた。

3. 海賊などとして活動した【3】（　　）と、正式な貿易船を区別する必要があった。

4. 証明の札である【4】（　　）を使った貿易を【5】（　　）という。

つながり

【6】（　　）と区別するため【7】（　　）を使う → 正式な貿易を進める。

2 文化　新しい仏教と室町文化

鎌倉の仏教と、室町の建築・芸能・絵画を結びつけよう。

語群　水墨画 ／ 銀閣 ／ 浄土宗 ／ 能 ／ 彫刻 ／ 金閣

1. 法然は【8】（　　）、親鸞は浄土真宗を広めた。

2. 運慶・快慶らは、力強い【9】（　　）をつくった。

3. 北山文化の【10】（　　）は足利義満、東山文化の【11】（　　）は足利義政と結びつく。

4. 観阿弥・世阿弥は【12】（　　）を大成させた。

5. 雪舟は、中国で学んだ技法をもとに【13】（　　）を発展させた。

つながり

東山文化が発達する → 【14】（　　）、【15】（　　）などに、簡素で落ち着いた美が表れる。

3 自分の言葉でつなげよう

勘合貿易では、なぜ証明の札が必要だったのだろう。

ヒント　倭寇／正式な貿易船

歴史 4 テーマ 5 戦国・安土桃山

① 政治・合戦と戦い

めあて　信長・秀吉の政策と、全国統一へ進む戦いをつかむ。

語群から選んで書こう。同じ語を繰り返し使うこともある。

1 政治　全国統一と支配の仕組み

戦国大名は領地を自分の力で支配し、信長・秀吉が統一を進めた。

語群　刀狩 ／ 楽市・楽座 ／ 兵農分離 ／ 室町幕府 ／ 太閤検地 ／ 豊臣秀吉

1. 織田信長は、商工業を盛んにする【1】（　　）を進めた。

2. 1573 年、信長は足利義昭を追放し、【2】（　　）を滅ぼした。

3. 1590 年、【3】（　　）が全国統一を完成させた。

4. 秀吉は、田畑の面積や収穫量などを調べる【4】（　　）を行った。

5. 農民から武器を取り上げる【5】（　　）などで、【6】（　　）を進めた。

つながり

【7】（　　）で年貢の基準を整える ／ 刀狩などで【8】（　　）を進める。

2 合戦・戦い　信長から秀吉と家康へ

戦いの年と人物を結びつけ、政治を担う人の変化を追おう。

語群　関ヶ原の戦い ／ 長篠の戦い ／ 桶狭間の戦い ／ 本能寺の変 ／ 徳川家康

1. 1560 年、信長は【9】（　　）で今川義元を破った。

2. 1575 年、信長・家康の連合軍は鉄砲を活用し、【10】（　　）で武田軍を破った。

3. 1582 年、明智光秀が起こした【11】（　　）で信長が亡くなった。

4. 秀吉の死後、1600 年の【12】（　　）で徳川家康の側が勝った。

つながり

【13】（　　）→ 秀吉が統一を進める → 関ヶ原で勝った【14】（　　）が次の政権へ。

3 自分の言葉でつなげよう

検地と刀狩は、秀吉の支配をどのように支えたのだろう。

ヒント　年貢の基準／農民の武器／武士と農民の区別

歴史 4 テーマ 5 戦国・安土桃山

② 外交・文化

めあて　ヨーロッパ・朝鮮との関係と、桃山文化をつなげる。

語群から選んで書こう。同じ語を繰り返し使うこともある。

1 外交　海外との交易と朝鮮への出兵

人や物の交流と、戦争による被害の両方を考えよう。

語群　朝鮮 ／ ザビエル ／ 南蛮貿易 ／ 鉄砲

1. 1543 年、ポルトガル人から【1】（　　）が伝わった。

2. 1549 年、【2】（　　）がキリスト教を伝えた。

3. ポルトガル人・スペイン人などとの貿易を【3】（　　）という。

4. 秀吉は 1592 年と 1597 年に【4】（　　）へ出兵し、多くの人々に被害を与えた。

つながり

【5】（　　）で海外の物や技術が入る → 戦い方や生活・文化にも影響する。

2 文化　城と茶の湯と南蛮の影響

大名や豊かな商人の力を背景に、華やかな文化が栄えた。

語群　千利休 ／ 桃山文化 ／ 南蛮貿易 ／ 天守 ／ 障壁画

1. 安土桃山時代の華やかな文化を【6】（　　）という。

2. 城には、支配者の力を示す大きな【7】（　　）などがつくられた。

3. 狩野永徳らは、金地に描く【8】（　　）で城などを飾った。

4. 【9】（　　）は、わび茶を大成させた。

5. 南蛮屏風には、来航したヨーロッパ人や【10】（　　）の様子も描かれた。

つながり

大名や商人の力 → 華やかな城や【11】（　　）と、落ち着いたわび茶の文化。

3 自分の言葉でつなげよう

海外との交流は、この時代の戦い方や文化にどんな影響を与えたのだろう。

ヒント　鉄砲／南蛮貿易／南蛮屏風

歴史 4 テーマ 6 江戸

① 政治・合戦と戦い

めあて　幕府の仕組みと、その始まり・終わりに関わる戦いをつかむ。

語群から選んで書こう。同じ語を繰り返し使うこともある。

1 政治　幕府が大名を統制する

信長・秀吉の統一事業を経て、徳川氏による長い支配が始まった。

語群　享保の改革 ／ 参勤交代 ／ 徳川家康 ／ 武家諸法度 ／ 幕藩体制

1. 1603 年、【1】（　　）が江戸に幕府を開いた。

2. 幕府と藩が全国を支配する仕組みを【2】（　　）という。

3. 幕府は、大名が守る法律【3】（　　）を定めた。

4. 徳川家光は、大名が江戸と領地を行き来する【4】（　　）を制度化した。

5. 徳川吉宗が行った立て直しは【5】（　　）である。

つながり

【6】（　　）で大名を統制する → 大名は多くの費用を使う → 幕府の支配を支える。

2 合戦・戦い　徳川の支配の成立と終わり

江戸の前後の戦いも含め、徳川氏の支配がどう変化したかを確認しよう。

語群　戊辰戦争 ／ 大塩平八郎 ／ 大政奉還 ／ 島原・天草一揆 ／ 大坂の陣

1. 1614・1615 年の【7】（　　）で豊臣氏が滅び、徳川の支配が固まった。

2. 1637 年に始まる【8】（　　）には、キリシタンや重税に苦しむ人々も加わった。

3. 1837 年、大阪で【9】（　　）が、飢えに苦しむ人々を救おうと兵を挙げた。

4. 1867 年、徳川慶喜が政権を朝廷に返す【10】（　　）を行った。

5. 1868〜1869 年、旧幕府側と新政府側が戦ったのは【11】（　　）である。

つながり

【12】（　　） → 新政府が成立する → 【13】（　　）を経て、新政府の支配が広がる。

3 自分の言葉でつなげよう

幕府は参勤交代によって、大名をどのように統制したのだろう。

ヒント　江戸と領地／江戸滞在・移動の費用

歴史 4 テーマ 6 江戸

② 外交・文化

めあて　海外との交流の変化と、町人・学問の文化を結びつける。

語群から選んで書こう。同じ語を繰り返し使うこともある。

1 外交　限られた交流から開国へ

「鎖国」のもとでも、長崎や対馬などを通じた海外との関係があった。

語群　日米修好通商条約 ／ ペリー ／ 鎖国 ／ 関税自主権 ／ オランダ ／ 日米和親条約

1. 海外との関係を幕府が厳しく管理した体制を、一般に【1】（　　）という。

2. 長崎では中国や【2】（　　）と貿易し、対馬を通じて朝鮮とも交流した。

3. 1853 年、アメリカの【3】（　　）が来航し、開国を求めた。

4. 1854 年に【4】（　　）、1858 年に【5】（　　）を結んだ。

5. 修好通商条約では、日本に【6】（　　）がなく、不平等な内容が含まれた。

つながり

【7】（　　）の来航 → 開国と通商 → 不平等条約の改正が課題となる。

2 文化　町人文化と学問

都市の発達によって、町人の文化や新しい学問も盛んになった。

語群　国学 ／ 元禄文化 ／ 浮世絵 ／ 化政文化 ／ 蘭学 ／ 俳諧

1. 上方の町人を中心に栄えたのが【8】（　　）である。

2. 松尾芭蕉は【9】（　　）（はいかい）を発展させた。

3. 江戸中心の【10】（　　）では、葛飾北斎・歌川広重の【11】（　　）が人気を集めた。

4. オランダ語の書物で西洋の学問を学ぶことを【12】（　　）という。

5. 本居宣長は、日本の古典を研究する【13】（　　）を発展させた。

つながり

長崎を通じてオランダの書物が入る → 【14】（　　）が発達する → 西洋の知識が広がる。

3 自分の言葉でつなげよう

海外との交流が限られていた江戸時代に、蘭学が発達できたのはなぜだろう。

ヒント　長崎／オランダ／書物

歴史 4 テーマ 7 明治・大正

① 政治・合戦と戦い

めあて　近代国家の制度、民主主義の広がり、戦争の順序をつかむ。

語群から選んで書こう。同じ語を繰り返し使うこともある。

1 政治　近代国家から大正デモクラシーへ

新政府は全国の仕組みを改め、その後、議会や選挙を求める動きが広がった。

語群　普通選挙法 ／ 富国強兵 ／ 大日本帝国憲法 ／ 廃藩置県 ／ 大正デモクラシー ／ 自由民権運動

1. 1871 年、藩をなくし府県を置いた改革を【1】（　　）という。

2. 国を豊かにし、軍を強くする方針を【2】（　　）という。

3. 板垣退助らは、国会や憲法を求める【3】（　　）を進めた。

4. 1889 年に【4】（　　）が発布され、翌年に帝国議会が開かれた。

5. 大正時代に政党政治や民主主義を求めた動きを【5】（　　）という。

6. 1925 年の【6】（　　）で、25 歳以上の男子に選挙権が認められた。

つながり

【7】（　　）→ 憲法・議会の成立 → 大正時代には選挙権の拡大が進む。

2 合戦・戦い　国内の反乱から国際的な戦争へ

対戦相手と時期、戦後の条約を対応させよう。

語群　日露戦争 ／ 第一次世界大戦 ／ 西南戦争 ／ 日清戦争

1. 1877 年、西郷隆盛を中心とする士族の【8】（　　）が起こった。

2. 1894〜1895 年、清と戦ったのは【9】（　　）である。

3. 1904〜1905 年、ロシアと戦ったのは【10】（　　）である。

4. 1914 年に【11】（　　）が始まり、日本もドイツに宣戦した。

つながり

【12】（　　）→ 下関条約 ／ 【13】（　　）→ ポーツマス条約。

3 自分の言葉でつなげよう

明治から大正にかけて、国民が政治に参加する仕組みはどう変化しただろう。

ヒント　国会・憲法／普通選挙法／男子

歴史 4 テーマ 7 明治・大正

② 外交・文化

めあて　条約改正や戦後の外交と、西洋の影響を受けた文化をつなげる。

語群から選んで書こう。同じ語を繰り返し使うこともある。

1 外交　条約改正と国際関係

政府は条約改正を進め、戦争や同盟によって海外との関係を変えていった。

語群　台湾 ／ ワシントン会議 ／ 領事裁判権 ／ 日英同盟 ／ 関税自主権 ／ ポーツマス条約

1. 1894 年、陸奥宗光は【1】（　　）の撤廃を実現する条約を結んだ。

2. 1911 年、小村寿太郎は【2】（　　）を回復した。

3. 1895 年の下関条約で、日本は【3】（　　）などを得た。

4. 1902 年に【4】（　　）を結び、1905 年にはロシアと【5】（　　）を結んだ。

5. 1921〜1922 年の【6】（　　）では、海軍軍備の制限などを話し合った。

つながり

陸奥宗光が【7】（　　）の撤廃を決める → 小村寿太郎が【8】（　　）を回復する。

2 文化　文明開化と近代の文学・生活

教育や交通が変わり、文学や都市の大衆文化も発達した。

語群　大衆文化 ／ 学制 ／ 夏目漱石 ／ 文明開化 ／ 鉄道

1. 西洋の生活や文化を取り入れた変化を【9】（　　）という。

2. 1872 年に【10】（　　）が公布され、近代的な学校制度づくりが進んだ。

3. 同じ 1872 年、新橋と横浜の間に【11】（　　）が開通した。

4.『吾輩は猫である』などを著した作家は【12】（　　）である。

5. 大正時代には、雑誌・映画などの【13】（　　）が都市を中心に広がった。

つながり

西洋の技術や文化を取り入れる【14】（　　）→ 学校・【15】（　　）などが暮らしを変える。

3 自分の言葉でつなげよう

不平等条約の改正では、どの二つの点が大きな課題となっただろう。

ヒント　外国人を裁く権利／関税を自国で決める権利

歴史 4 テーマ 8 昭和・平成・令和

① 政治・合戦と戦い

めあて　戦争と戦後の民主化を押さえ、平成・令和の政治につなげる。

語群から選んで書こう。同じ語を繰り返し使うこともある。

1 政治　戦前の政治から戦後の民主化へ

戦後の改革を土台に、政治への参加は平成にも広がった。

語群　令和 ／ 女性 ／ 18 ／ 軍部 ／ 日本国憲法

1. 昭和の 1930 年代には、【1】（　　）の政治への影響力が強まった。

2. 1946 年の衆議院議員選挙では、初めて【2】（　　）も投票した。

3. 1947 年の【3】（　　）は、国民主権などの三原則を定めた。

4. 平成の 2016 年、選挙権年齢が満【4】（　　）歳以上に引き下げられた。

5. 2019 年 5 月 1 日、天皇の即位により元号が【5】（　　）に変わった。

つながり

敗戦 → 女性の選挙参加と【6】（　　） → 平成に若者の選挙参加も広がる。

2 合戦・戦い　昭和の戦争と戦後の平和協力

戦争の順序と、戦後に平和を支える取組を分けて考えよう。

語群　PKO ／ 太平洋戦争 ／ 満州事変 ／ ポツダム宣言 ／ 日中戦争 ／ 平和主義

1. 1931 年に【7】（　　）、1937 年に【8】（　　）が始まった。

2. 1941 年、日本と米英などとの【9】（　　）が始まった。

3. 1945 年、日本は【10】（　　）を受け入れて降伏した。

4. 平成の 1992 年、自衛隊はカンボジアの【11】（　　）に参加し、復興などに協力した。

つながり

戦争と敗戦 → 憲法の【12】（　　） → 国連などを通じた平和への協力。

3 自分の言葉でつなげよう

戦後、政治への参加と平和への取組はどう変わったのだろう。

ヒント　女性・若者／国民主権／平和主義／国際協力

歴史 4 テーマ 8 昭和・平成・令和

② 外交・文化

めあて　国際社会への復帰から地球規模の協力へ、生活と文化の変化を追う。

語群から選んで書こう。同じ語を繰り返し使うこともある。

1 外交　独立回復から地球規模の協力へ

昭和の講和・国交回復と、平成・令和につながる国際協力を整理しよう。

語群　パリ協定 ／ 日中共同声明 ／ 国際連合 ／ サンフランシスコ平和条約 ／ 環境

1. 1951 年に【1】（　　）を結び、翌年に独立を回復した。

2. 1956 年、日本は【2】（　　）に加盟した。

3. 1972 年の【3】（　　）で、中国との国交が正常化した。

4. 平成の 2015 年、気候変動に取り組む【4】（　　）が採択された。

つながり

国際社会へ復帰する → 各国との協力が広がる → 【5】（　　）など地球規模の課題に取り組む。

2 文化　テレビからインターネットへ

経済の発展と情報技術は、暮らしや文化の広がり方を変えた。

語群　アニメ ／ 高度経済成長 ／ オリンピック ／ テレビ ／ インターネット

1. 昭和の戦後、【6】（　　）で電気製品などが普及した。

2. 昭和には【7】（　　）が広がり、家庭に映像の情報や娯楽が届いた。

3. 平成から令和にかけて【8】（　　）が広がり、情報の発信や学び方が変わった。

4. 日本の【9】（　　）や漫画などは、海外でも親しまれるようになった。

5. 令和の 2021 年、東京【10】（　　）・パラリンピックが開催された。

つながり

【11】（　　）で映像が家庭へ → 【12】（　　）で多くの人が発信・交流できるように。

3 自分の言葉でつなげよう

テレビからインターネットへ、情報のやり取りはどう変化したのだろう。

ヒント　家庭に情報が届く／個人の発信／遠くと交流